人形山　間もなく山開き、その直前に行きました。

駐車場までは悪路です

気持ちの良い草原帯に出ました

登るときにはなかったしめ縄を張りに若者が準備していました。

流刑小屋

富山県文化財指定　昭和四十年十月一日

有形民俗文化財　流刑小屋

間口　二七七m　奥行　三六三m

加賀藩の流刑地として罪人が五箇山へ送られて来たのは、寛文七年（一六六七）が最初とされている。以来明治維新までの約二〇〇年間に一五〇余人が流されてきた。流刑地は、庄川右岸の七集落（諸谷・小原・田向・大島・竜度・大崩島・祖山）に限られている。藩は、流刑人の逃亡を防ぐため庄川に橋をかけさせず一人では往来できない竜の渡しを使わせた。流刑小屋には集落内に限って出歩ける平小屋、一歩も外へ出られないお縮小屋、小屋の中に更に狭い檻を作って閉じ込める禁錮の三種類がある。お縮小屋と禁錮は牢番が食事を柱の穴から差し入れるだけであった。

このお縮小屋は明治以降は、物置に利用されていたが昭和三十八年の豪雪で倒壊したため、古文書を参考にして復元したものである。

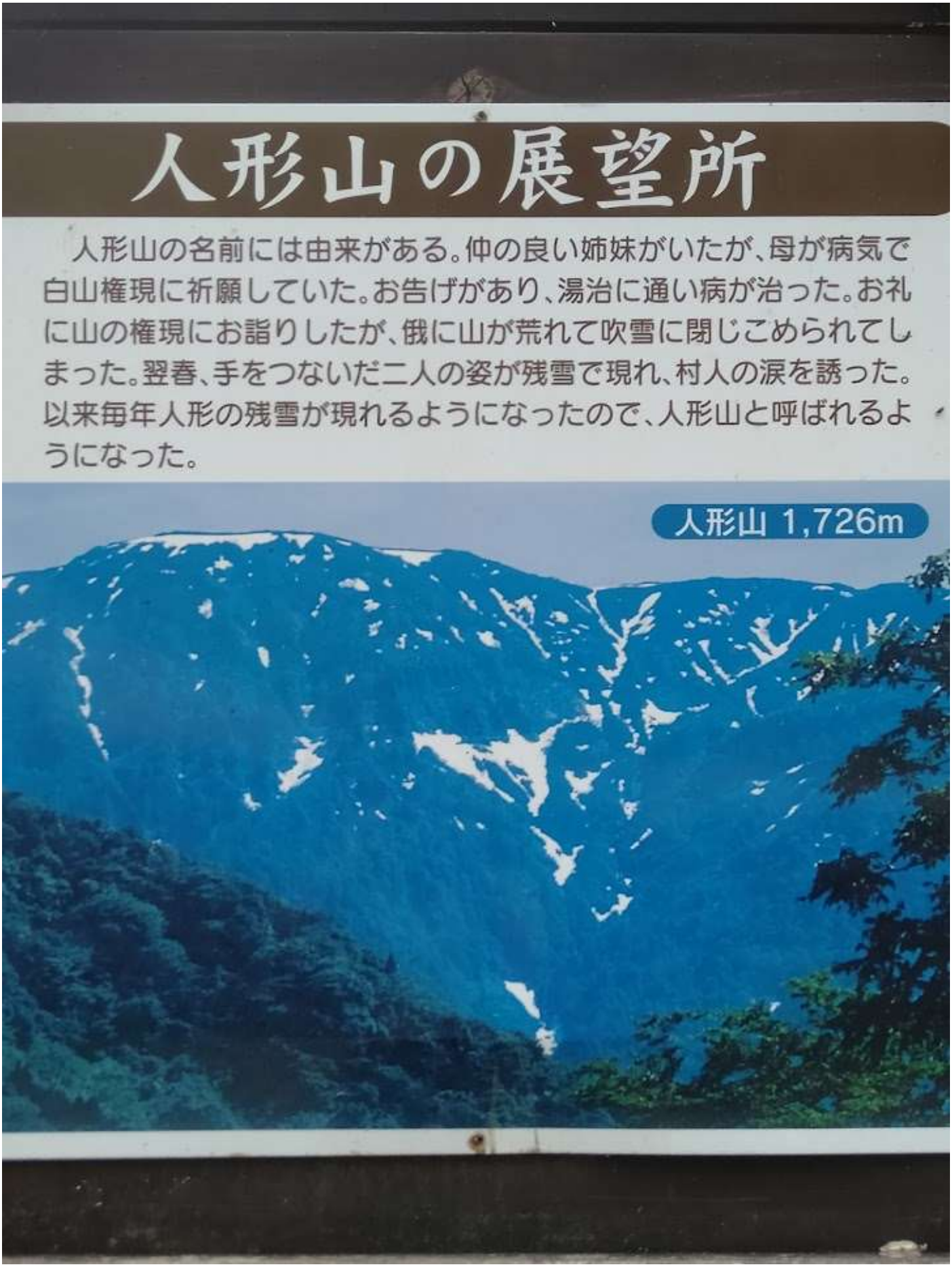
全国的にも流刑小屋の遺構はなく貴重な民俗資料である。

平成十四年十一月

富山県教育委員会
南砺市
南砺市教育委員会

https://toyama-bunkaisan.jp/search/2665/

南砺市田向に保存されている、全国で唯一の流刑小屋である。
重罪人を収容した「お縮り小屋」と呼ばれるもので、外部と交流できず、日常からほとんど隔離された場所である。
五箇山は、元禄３年（1690）以後に流刑地に本格的に指定され、断崖絶壁の庄川右岸の集落がいくつかえらばれた。
明和６（1769）年に焼失し、新築されたが三八豪雪で壊れて昭和 40 年に復元された。

五箇山

五箇山から人形山が良く見えました。看板から村に愛されていることがわかりました。